

「たばこ」がいない、 これだけの理由

Rationale for Tobacco Free Society

日本だけで年間13万人の命を奪い、「百害あって一利なし」、と言われるたばこ。にもかかわらず、なぜ人は吸い続けるのでしょうか、なぜ社会の中にあり続けるのでしょうか、なぜ危険に見合った規制がされないのでしょうか。タバコフリーへの第一歩はまず「知ること」、そして「行動すること」です。

たばこ社会からの脱却～タバコフリー世代を守るために

たばこは、がんや多くの疾患の原因で、日本で年間13万人、世界では年間600万人の命が失われています。健康被害の原因、あるいは健康を損なう恐れのあるものに対して、社会は危険性に見合った規制や禁止をしますが、たばこは例外で、人命と引き換えに、年間2兆円の税収を確保する財政物資という座を占め続けているのです。

「たばこ病」

たばこは、がんや多くの疾患の原因で、日本で年間13万人、世界では年間600万人の命が失われています。健康被害の原因、あるいは健康を損なう恐れのあるものに対して、社会は危険性に見合った規制や禁止をしますが、たばこは例外で、人命と引き換えに、年間2兆円の税収を確保する財政物資という座を占め続けているのです。

「たばこ」で、何？ 飲んでるの。

たばこにはこんな危険な物質がいっぱい。

ニコチン 一酸化炭素 タール

「発がん物質」は69種類以上

**「たばこ」が原因で、
日本では年間
13万人
もの人が死亡している。**

みなさんはたばこが原因で、こんなにたくさんの方が毎年亡くなっていることを知っていますか？ そうですね、街ではいたるところにたばこの自動販売機が置かれているし、コンビニにはたくさんたばこのパッケージが並んでいます。そんな危険なものならどうしてたばこがあるのか不思議ですよね。まず、この小冊子ではそこから話していきます。

「たばこ病」は、文字通り頭の先からつま先まで、赤ちゃんからお年寄りまで起こります。たばこには多くの有害物質や発がん物質が含まれるため、繰り返し摂取することで、非常に多彩な病気や病態を引き起こします。

たばこに含まれるニコチンは、薬物依存に共通したメカニズムで依存症をもたらします。麻薬やヘロイン、コカインなどとの違いは、法律で禁止されていないだけです。喫煙所で煙にまみれながらも喫煙する人々は、ニコチン補給に通っているようなものです。

たばこが止められない「なぜ？」

「ニコチン」による、薬物依存症だから。

「受動喫煙」の危険性

一酸化炭素 4.7倍
ニコチン 2.8倍
タール 3.4倍

危険性

たばこのない、地球へ。

世界の人たちが目を覚まして、たばこフリー（たばこのない）社会へ向け、素晴らしいとされる空気は、あふれるほどの命を奪む地球規模によって不可逆的なたばこの害を止めるための、グローバルな取り組みが広がっています。

FCTCって？

日本

アイスランド

スペイン

アメリカ

タバコフリーな社会を目指して、世界中の国々は条約を結び、具体的な取り組みに乗り出しました。日本でも、国、都道府県、市町村で、積極的な動きが始まっています。Think Globally, Act Locally, Move on Nationally! (地球規模で考え、地域で行動し、全国的に進んでいこう！)

パンフレット発行：公益財団法人がん研究振興財団、企画・制作：株式会社インクス・中村明夫、監修：国立がん研究センター・望月友美子
協力：国立がん研究センター・浅村尚生、福岡歯科大学・埴岡隆、愛知学院大学・稲垣幸司、神奈川県開成小学校、神奈川県相模原市、厚生労働省